

医療救護活動訓練の実施について (令和4年度東京都・神津島村合同総合防災訓練)

1 訓練全体の概要

(1) 目的

島しょ地域における地震による津波等の災害発生を想定し、島内の自助・共助体制や東京都・神津島村及び防災機関の災害対応の役割・連携などを訓練することで、応急対応能力の向上を図る。

(2) 実施日

令和4年11月9日(水曜日)(一部の訓練は、11月8日(火曜日)に実施)

(3) 参加機関

東京都、神津島村、警視庁、東京消防庁、防衛省・自衛隊・在日米軍、海上保安庁、ライフライン機関、地元消防団、住民 等

(4) 参加規模

約1,100名

2 医療救護活動訓練の概要

(1) 想定

令和4年11月9日(水曜日)、南海トラフ地震が発生し、神津島村においては最大震度5強の地震が観測され、地震発生約16分後に最大26.57mの津波が到達した。家屋倒壊等により多数の傷病者が発生した。

(2) 参加機関

神津島村診療所、神津島村保健センター、島しょ保健所大島出張所(神津島支所を含む)、地方独立行政法人東京都立病院機構(広尾病院)、日本赤十字社東京都支部、公益財団法人献血供給事業団、都立神津高校、東京都福祉保健局ほか

(3) 訓練項目

	項目	内容
1	トリアージ訓練	搬送されてきた負傷者に対するトリアージを実施
2	担架搬送訓練	高校生により編成された担架班がトリアージエリアから重症・中等症エリアへ負傷者を搬送
3	医療処置訓練	トリアージされた負傷者に対して、医療処置の実施
4	情報連絡訓練	保健所、診療所、都(及びコーディネーター)による応援・搬送調整の模擬通信の実施
5	患者搬送訓練	搬送が必要な重症患者をヘリ離着陸地点へ自衛隊車両にて搬送(自衛隊車両への乗車までの実施)

※東京消防庁の協力により、別途、都立神津高校生徒に対し、担架班講習を実施